

学童球児ら熱闘 牛1頭が副賞に



野球連盟中部北支部学童嘉手納・読谷ブロック主催)が10日、読谷村の平和の森球場で開かれた。優勝チームへの副賞はなんと闘牛1頭。嘉手納町と読谷村の少年たちが牛を懸けて戦った。

読んで楽しい NIE

【読谷】古堅モ

ーターズ杯学童軟式野球大会(県

古堅モーターズ杯野球

喜名キング優勝

優勝し闘牛を獲得した喜名キングのメンバー＝10日、読谷村の平和の森球場

た。協賛の古堅モーターズ(佐久川政秀社長)は闘牛のオーナーとして有名。佐久川社長は「野球の大会で牛が贈られるのは世界初だ」と笑う。牛を獲得したのは低学年の部(4年生以下)で優勝した喜名キング(読谷村)。松田健監督は「牛1頭もらえると聞いて目標にした。大会は2連覇なので子どもたちも喜んで」と話した。牛は「喜名キング」と名付けられ、闘牛大会への出場を目指す。中学年の部(5年生)では古堅南少年野球クラブ(同村)が優勝、「元闘牛」の良質な牛肉18キログラムが贈られた。